

第1回 産官協議会(次世代モビリティ) 説明資料

令和2年4月13日

国土交通省総合政策局
モビリティサービス推進課

資料①

地域公共交通活性化再生法の改正案について

持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律案

地域が自らデザインする地域の交通【地域公共交通活性化再生法・道路運送法】

- 地方公共団体による「**地域公共交通計画**」(マスタープラン)の作成
 - ・地方公共団体による**地域公共交通計画(マスタープラン)**の作成を**努力義務化**
⇒国が予算・ノウハウ面の支援を行うことで、地域における取組を更に促進(作成経費を補助 ※予算関連)
 - ・従来の公共交通サービスに加え、**地域の多様な輸送資源(自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバス等)も計画に位置付け**
⇒バス・タクシー等の公共交通機関をフル活用した上で、地域の移動ニーズにきめ細かくに対応(情報基盤の整備・活用やキャッシュレス化の推進にも配慮)
 - ・定量的な目標(利用者数、収支等)の設定、毎年度の評価等
⇒データに基づくPDCAを強化
- 地域における協議の促進
 - ・**乗合バスの新規参入等の申請**があった場合、国が地方公共団体に**通知**
 - ・通知を受けた**地方公共団体は**、新規参入等で想定される地域公共交通利便増進実施計画への影響等も踏まえ、**地域の協議会で議論し、国に意見を提出**

地域公共交通網形成計画(H26改正)
(市町村又は都道府県(市町村と共同)が作成)
まちづくりと連携した
地域公共交通ネットワークの形成の促進

地域公共交通計画(今回改正後)
(市町村又は都道府県(市町村と共同)が作成)
まちづくりと連携した
地域公共交通ネットワークの形成
+
地域における
輸送資源の総動員
メニューの充実やPDCAの強化により、
持続可能な旅客運送サービスの提供の確保



地域公共交通網形成計画の
策定状況



地域の移動ニーズにきめ細かく対応できるメニューの充実【地域公共交通活性化再生法・道路運送法】

輸送資源の総動員による移動手段の確保

地域に最適な旅客運送サービスの継続

- 路線バス等の維持が困難と見込まれる段階で、**地方公共団体が、関係者と協議してサービス継続のための実施方針を策定し**、公募により新たなサービス提供事業者等を選定する「**地域旅客運送サービス継続事業**」を創設
⇒従前の路線バス等に代わり、地域の実情に応じて右の①～⑥のいずれかによる**旅客運送サービスの継続を実現**

実施方針に定めるメニュー例

- ① 乗合バス事業者など他の交通事業者による継続(縮小・変更含む)
- ② コミュニティバスによる継続
- ③ デマンド交通(タクシー車両による乗合運送(区域運行))による継続
- ④ タクシー(乗用事業)による継続
- ⑤ 自家用有償旅客運送による継続
- ⑥ 福祉輸送、スクールバス、病院、商業施設等への送迎サービス等の積極的活用

自家用有償旅客運送の実施の円滑化

- 過疎地等で市町村等が行う**自家用有償旅客運送**について、**バス・タクシー事業者**が運行管理、車両整備管理で協力する制度を創設
⇒**運送の安全性を向上**させつつ、**実施を円滑化**
- 地域住民のみならず**観光客を含む来訪者も対象**として明確化
⇒インバウンドを含む**観光ニーズへも対応**



貨客混載に係る 手続の円滑化

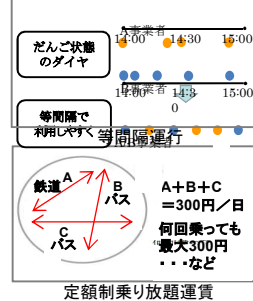
- 鉄道や乗合バス等における貨客混載を行う「**貨客運送効率化事業**」を創設
⇒**旅客・貨物運送サービスの生産性向上を促進**



既存の公共交通サービスの改善の徹底

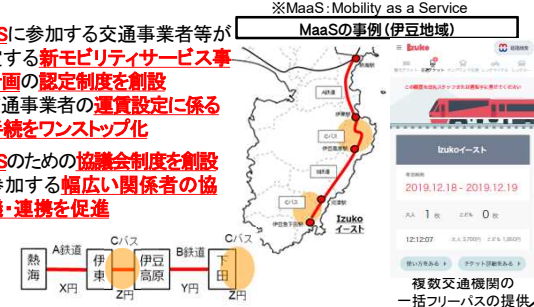
利用者目線による路線の改善、運賃の設定

- 【現状】地方都市のバス路線では、不便な路線・ダイヤや画一的な運賃が見直されにくく、利便性向上や運行の効率化に支障
また、**独占禁止法のカルテル規制に抵触**するおそれから、**ダイヤ、運賃等**の調整は困難
- 【改正案】「**地域公共交通利便増進事業**」を創設
⇒路線の効率化のほか、「**等間隔運行**」や「**定額制 乗り放題運賃**」「**乗継ぎ割引運賃(通し運賃)**」等のサービス改善を促進
併せて、**独占禁止法特例法案(内閣官房提出)**により、乗合バス事業者間等の共同経営について、**カルテル規制を適用除外する特例を創設**



MaaSの円滑な普及促進に向けた措置

- MaaSに参加する交通事業者等が策定する**新モビリティサービス事業計画の認定制度を創設**
⇒交通事業者の**運賃設定に係る手続をワンストップ化**
- MaaSのための**協議会制度を創設**
⇒参加する幅広い関係者の**協議・連携を促進**



交通インフラに対する支援の充実【地域公共交通活性化再生法・物流総合効率化法】

- 鉄道建設・運輸施設整備支援機構による**資金の貸付制度**の対象として、LRT・BRT等のほか、以下の交通インフラの整備を追加(※予算関連)
 - ・地域公共交通活性化再生法に基づく認定を受けた**鉄道の整備**
⇒交通ネットワークを充実
 - ・物流総合効率化法に基づく認定を受けた**物流拠点**(トラックターミナル等)の**整備**
⇒複数の事業者の連携による物流効率化を促進



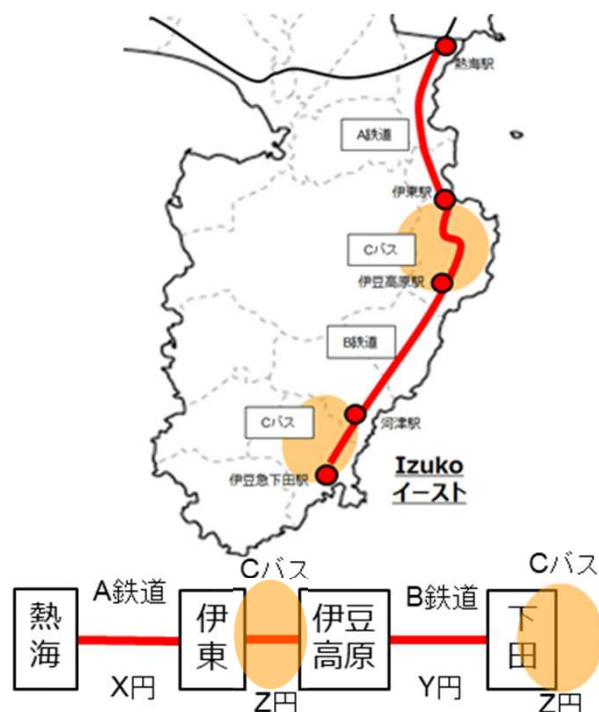
既存の公共交通サービスの改善の徹底（MaaSの円滑な普及促進に向けた措置）

- MaaSに参加する交通事業者等が策定する新モビリティサービス事業計画の認定制度を創設
⇒交通事業者の運賃設定に係る手続をワンストップ化
- MaaSのための協議会制度を創設
⇒参加する幅広い関係者の協議・連携を促進

※MaaS: Mobility as a Service

MaaSの目的・内容

MaaSの事例（伊豆地域）



複数交通機関の
一括フリーパスの提供

- MaaSとして提供するサービス
 - ・ 複数交通モード横断の経路検索
 - ・ 複数交通モード横断のフリーパスの購入
 - ・ 観光施設のチケットの購入
 - ・ AIオンデマンド交通の予約 等

- 地域課題の解決
 - ・ 移動の利便性向上・公共交通の維持・活性化
 - ・ 高齢者の移動機会の創出
 - ・ 観光地での周遊促進・観光消費の拡大

参考

MaaS(マース: Mobility as a Service)とは、

- 地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済を一括で行うサービス
- 手段としてスマホアプリ等を用いることが多い。
- 新たな移動手段(シェアサイクル等)や移動目的に関連したサービス(観光チケットの購入等)も組み合わせることが可能



資料②

MaaS関連データの連携に関するガイドラインver1.0 について

MaaSにおけるデータ連携の方向性

- MaaSにおいて、データ連携を行う上では、関連するデータが円滑に連携されることが重要
- 民間事業者等によるプラットフォームの構築が進み始めていることを踏まえ、既存又は今後構築されるプラットフォームがAPI等で連携されることが望ましい
- MaaSアプリ等についても、利用者利便の観点から各アプリ等がAPI等で連携し、一つのアプリ等で複数のアプリ等を利用できる状態になることが望ましい

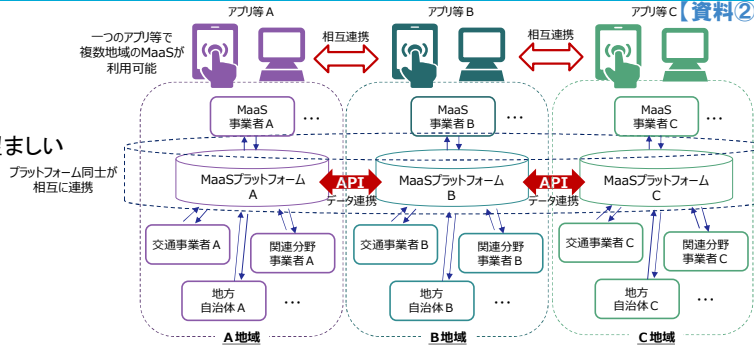
ガイドライン策定の背景・趣旨

- MaaSに関連するプレイヤーがデータ連携を円滑に行うために留意すべき事項を整理し、MaaS提供の促進や、MaaS相互の連携促進を企図
- 各地域等で提供されるMaaS毎に、関係者間で共有すべき事項等を整理
- ガイドラインの項目・内容は、MaaS関連データに係る環境の変化や、技術の進展、サービスの進展・変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを検討

MaaSにおけるデータ連携の構造

- Society5.0実現に向けて他分野（スマートシティ・スーパーシティ）で用いられているアーキテクチャに基づき、以下のレイヤー毎に、各地域等で提供されるMaaS毎に留意すべき事項を整理

戦略・政策層	＜MaaS提供にあたっての目的＞ ● 各地域においてMaaSが目指すビジョン及び目的を明確にし、サービスの方向性を定めることが重要 ● 目指すビジョン及び目的の検討を行う際には、地域公共交通の確保・維持や活性化についても検討を行うことが必要 等
ルール層	＜データ連携を行う上でのルール＞
組織層	＜MaaSに関連するプレイヤー＞ ● 地域やMaaSの特性に応じた体制の構築が重要 等
ビジネス層	＜ビジネスとしてのMaaS＞ ● データ連携に必要な費用 ・公共交通等関連データの生成に費用がかかっており、費用に見合う対価（付加価値データの收受を含む）を得られる仕組みが重要 ・交通事業者のデータ化への動機付けの観点から、行政機関への電子申請を可能とする検討が重要 ・個人情報・プライバシー保護、セキュリティ対策にも相応の費用が必要 ● MaaSによる収入 ・MaaS自体の提供やプラットフォームの提供による収入 ・MaaS関連データを活用したサービスによる収入
機能層	＜MaaSにおけるサービスに係る機能＞ ● 同じサービスであってもそのまま別の地域にすぐに導入できるものではなく、機能の調整（ローカライズ）が必要 等
データ層	＜MaaSに必要なとなるデータ＞
データ連携層	＜データ連携の方法等＞
アセット層	＜MaaSを支えるアセット＞ ● 政府・自治体、民間、個人等のシステム、インフラ等
セキュリティ柱	各層に記載



MaaS関連データにおける協調的・競争的の考え方

協調的データ	MaaS関連データのうち、各MaaSにおいて設定された最低限のルール等に基づき、各MaaSプラットフォームを利用する全てのデータ利用者が利用可能なものとして、当該プラットフォームに提供等が行われるデータ
競争的データ	MaaS関連データのうち、当該データの提供者との契約等により個別に共有が行われるものとして、各MaaSプラットフォームに提供等が行われるデータ



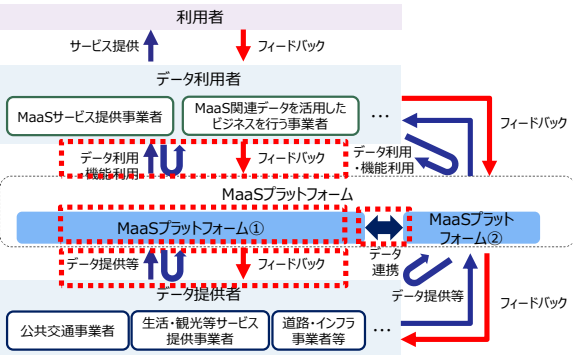
- MaaS関連データは、以下のようにMaaSプラットフォームに提供等が行われるように努めることとする。
 - i. 利用者が基本的なMaaSのサービスを楽しむ上で特に重要なデータ(MaaS基盤データ:「◎」)は、協調的データとしよう努める
 - ii. 利用者が利便性の高いMaaSのサービスを楽しむ上で重要なデータ(「○」)は、可能な限り、協調的データとすることが望ましい
 - iii. それ以外のデータについては、各主体が協調的・競争的の判断を行う

移動関連データの取扱い

- 移動関連データは、匿名化等の必要な処理を施したうえで、プラットフォーム運営者及びデータ提供者に共有されることが望ましい
- 地方公共団体が地域の交通計画やまちづくり計画等の策定のために用いる場合に、移動関連データが提供されることが望ましい

関係者間でのデータの取扱い

- データ提供者:各交通事業者は以下のいずれかを実施し、MaaSプラットフォームにデータ提供等を行う。
 - 各主体が有するデータの形式、規格、用語の意味等を公開
 - データの項目ごとに使用する単語の意味を交通モードごとに統一化
 - 交通モードごとにデータ形式の標準化
 - ・バス、フェリーでは標準フォーマット(GTFS)を推奨
- データ利用者、プラットフォーム運営者、MaaSプラットフォーム間の連携等



分類	データ項目	概要	備考	例) 公共交通関連データの場合	例) MaaS予約・決済データの場合
				MaaS基盤データに「◎」、協調的データとすることが望ましいデータに「○」	各社で協調的・競争的の判断を行うデータは「(空欄)」
静的データ	駅構内図	駅構内図や、出入口、エレベーター・移動所要時間等、駅構内に関連する情報	◎		
	車両情報	事業者が保有する車両の型式・種類、編成数、乗車人数等に関連する情報	○		

- 様々な方法によりデータ連携をすることとなるが、円滑に連携できる代表的な方法としてはAPIが挙げられる
- APIの構築にも費用がかかるため、適切かつ簡便な方法を選択することが望ましい
- APIの開放度については、APIでやり取りされるデータの状況に鑑みた設定が必要
- 国際的なデータ連携には、データ項目・形式等の共通化のほか、システム改修・データ変換に係るコストや、競争環境に留意が必要

i) 公共交通等関連データ				②バス			
①鉄道				分類	データ項目	概要	備考
静的データ	事業者情報	事業者の法人番号、名称、URL、電話番号、問い合わせ先等	◎	静的データ	事業者情報	事業者の法人番号、名称、URL、電話番号、問い合わせ先等	◎
	駅情報	駅の名称や位置、駅番号、キャッシュレス導入状況、駅に関連する路線、運行系統等	◎		停留所・標柱情報	バス停の名称や位置バス停番号、バス停に関連する運行路線、運行系統、車椅子情報等	◎
	駅構内図	駅構内図や、出入口、エレベーター等、駅構内に関連する情報	◎		バリアフリー情報	バス停・車両のバリアフリー設備の設置有無、設置状況、設置位置等	◎
	バリアフリー情報	駅・車両のバリアフリー設備の設置有無、設置状況、設置位置等の情報	◎		バス時刻表	バス毎のバス停及び標柱への到着時刻と出発時刻、平日・土曜・日祝区分と、運行路線・系統、目的地名等	◎
	路線系統情報	路線名と、停車駅等、路線系統に関連する情報	◎		停留所・標柱時刻表	バス停・標柱毎の到着時刻と出発時刻、通過順位、平日・土曜・日祝区分、運行路線・系統、目的地名等	◎
	駅時刻表	駅からの出発時刻、平日・土曜・日祝区分と、目的地駅名に関連する情報	◎		運行間隔情報	開始時刻、終了時刻、運行間隔等に関連する情報	◎
	列車時刻表	列車毎の駅からの出発時刻、到着時刻、平日・土曜・日祝区分、発着番線、快速等の区分と目的地駅名に関連する情報	◎		バス路線情報	運行路線・系統名と、停車バス停等に関連する情報	◎
	運賃情報	出発地から目的地までの運賃情報	◎		運行区分・運行日情報	平日、休日等の運行区分や、運行日に関連する情報	◎
	乗降者数情報	駅名、調査年等の過去の乗降者数に関連する情報	○		運賃属性情報	運賃、支払タイミング、乗換等の運賃属性に関連する情報	◎
	車両情報	事業者が保有する車両の型式・種類、車両編成数、車両数、最大乗車人数、座席数等	○		運賃情報	出発地から目的地までの運賃情報	◎
	路線毎の使用車両情報	路線毎の使用している車両、車両のサイズ等に関連する情報	○		車両情報	事業者が保有している車両の型式、最大乗車人数、車両数、座席数等の車両に関連する情報	○
	乗換情報	路線ごとの乗換駅、乗換の目安時間等の乗換に関連する情報	○		路線毎の使用車両情報	路線毎の使用している車両、車両のサイズ、決済手段の種類等	○
	運行情報	路線毎／列車毎の遅延情報、運転見合わせ情報等の運行状態に関連する情報	◎		乗降者数情報	バス停名、調査年等の過去の乗降者数に関連する情報	○
	列車ロケーション情報	列車毎の遅延情報、駅停車中又は駅間移動中等の位置情報、目的地等	○		乗換情報	路線ごとの乗換駅、乗換の目安時間等の乗換に関連する情報	○
動的データ	出発／到着予測情報	列車毎の停車駅への到着予測時刻、出発予測時刻等、到着予測時刻に関連する情報	○	動的データ	運行情報	運行情報の概要、影響、原因、運行状態に関連する情報	◎
	路線毎の使用車両情報	路線毎の使用している車両、車両のサイズ等に関連する情報	○		バスロケーション情報	運行するバス毎の車両の緯度・経度、接近情報、混雑度等のバスのロケーションに関連する情報	○
	リアルタイム混雑情報	列車毎の乗車率、空席率等の列車の混雑度に関連する情報	○		ルート最新情報	バス毎のバス停（停留所・標柱）への到着予測時刻、出発予測時刻、通過予測時刻、遅延情報等の最新情報	○
					リアルタイム混雑情報	バス毎の乗車率・空席率等のバスの混雑度に関連する情報	○

本文には、「③フェリー・旅客船」、「④航空」、「⑤タクシー」、「⑥レンタカー(カーシェア)・レンタサイクル(シェアサイクル)」の項目も列挙

ii) MaaS予約・決済データ

分類	データ項目	概要	備考
MaaS予約データ	予約情報	MaaSの利用に係る予約内容や予約完了を示す情報	
	予約履歴	MaaSにおける過去の予約情報の履歴、予約完了情報の履歴等、予約履歴に関連する情報	
	利用済・チェックイン情報	MaaSにおいて予約された情報が利用／チェックイン／貸出・返却を示す情報	
	変更／キャンセル履歴	MaaSにおける過去の予約情報に対する変更やキャンセルに関する情報	
MaaS決済データ	決済情報	MaaSの利用に係る金額、支払手段等の決済の内容や、決済完了に関連する情報	
	決済履歴	MaaSにおける過去の決済情報、決済完了情報の履歴等	
	決済利用・通過情報	MaaSにおける決済の利用状況や、通過情報等	
	変更／キャンセル履歴	MaaSにおける過去の決済情報に対する変更やキャンセルに関する情報	

iii) 移動関連データ

分類	データ項目	概要	備考
移動実績	経路検索履歴データ	予定出発地、予定目的地、移動予定日・時間、経路検索結果、検索回数、検索日時等	
	位置履歴データ	実際に移動した経路を示す情報	
	交通機関の乗降履歴データ	実際に乗車（降車）した交通機関、乗車（降車）時間、乗車（降車）場所等の情報	
	施設のチェックイン	実際に訪れた施設の場所、訪問日時等の情報	
	滞在履歴データ	実際に滞在した場所の位置情報、滞在時間等の情報	
連携サービスの利用	サービス情報の閲覧履歴データ	サービス情報、日時、場所、時間等の閲覧履歴	
	サービス予約履歴データ	予約内容、予約日時、予約場所等の情報	
	サービス決済履歴データ	決済内容、決済日時、決済場所等の情報	
	サービスに関するユーザ評価履歴データ	評価内容、評価日時、評価場所等の情報	

iv) 関連分野データ

分類	データ項目	概要	備考
連携サービスに関するデータ	サービス提供者の営業情報	提供社名、連絡先、住所、アクセス方法、営業時間、定休日、支払方法、その他設備等	
	サービス内容	サービスメニュー及び料金等に関わる情報	
	サービス評価	サービス利用者による口コミ、第3者評価等の情報	
	サービス予約情報	サービスの予約状況等に関する情報	
	サービス購入実績情報	過去のサービス購入履歴等に関する情報	
	基盤地図データ	国土基盤情報や、基盤地図情報等の地図に関するデータの基盤となる情報	
地図に関するデータ	公共交通ネットワークデータ	鉄道やバス、フェリー等の路線、バス及びタクシーの乗降場所、交通機関間の接続等、	
	自動車用ネットワークデータ	自動車が走行可能な道路、通行実績、渋滞等	
	自転車用ネットワークデータ	自転車が走行可能な道路、通行実績等	
	歩行者用ネットワークデータ	歩行者が通行可能な歩道・道路、地下空間、駅構内、駅周辺通路、通行実績等	
	バリアフリーネットワークデータ	車椅子が通行可能な歩道・道路、地下空間、通行実績等、	

分類	データ項目	概要	備考
インフラに関するデータ	インフラ情報	道路、駐車場等の位置等	
	バリアフリー情報	道路、駐車場等のバリアフリー情報	
	混雑状況	道路、駐車場等における現在の混雑状況等	
	工事等情報	道路、駐車場等における工事等の有無、工事期間等	
	過去のインフラ利用履歴	道路、駐車場等の過去の利用実績の有無、日時、回数等	
車両等の移動	ガソリンスタンド、充電ステーション情報	ガソリンスタンドや充電ステーションの施設情報や、位置情報等の情報	
	自動車の移動データ	走行速度や走行経路、時刻等	
	自転車の移動データ	走行速度や走行経度、時刻等	
イベント	歩行者の移動データ	移動方向、人数、時刻等	
	イベント情報	日時、場所・エリア等	
災害	イベント規制情報	イベントに伴う規制等の情報	
	災害に関するデータ	移動経路周辺の警報等	
環境	避難所データ	避難所の位置等の情報	
	天候・気温等データ	移動経路周辺の天気、気温、風速等に関わる情報	
	過去の天候・気温等データ	過去の移動経路周辺の天気、気温、風速等に関わる情報	

環境	避難所データ	避難所の位置等の情報	
	天候・気温等データ	移動経路周辺の天気、気温、風速等に関わる情報	
	過去の天候・気温等データ	過去の移動経路周辺の天気、気温、風速等に関わる情報	